

平成28年度

事業報告書並びに収支計算書及び貸借対
照表、正味財産増減計算書、財産目録、
附属明細書

公益目的事業 1

駿府博物館の展覧会事業及び教育普及事業

A. 展覧会活動

1. 駿府博物館45周年記念～国芳、広重、国貞、豊国、英泉、…江戸・明治の浮世絵師たちが描く～

「ニャンダフル！浮世絵ねこの世界展」

主 催 駿府博物館、静岡新聞社・静岡放送

企画協力 ステップイースト

後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会

■会 期 2016年4月23日(土)～6月19日(日)[50日間]

※会期中、展示替えを行った。

前期:4月23日(土)～5月22日(日) 後期:5月24日(火)～6月19日(日)

■開館時間 午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)

■休 館 日 月曜日

■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送会館別館2階)

■入 館 料 《当日券のみ》高校生以上800円 にゃん割700円

中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料

※にゃん割とは、猫の写真を提供していただくことで入館料を100円引きにした。写真は入口等に飾り、その数は500枚以上になった。

■内 容 浮世絵に描かれた猫の世界と題し「猫の浮世絵=国芳」といわれるほど、浮世絵で猫を描いた国芳をはじめ「名所江戸百景」の中で哀愁に満ちた猫を描いた広重、美人とともに猫を描いた国貞、豊国、英泉など、江戸・明治に活躍した浮世絵師たちが描いた様々な猫を紹介した。

■関連イベント

●ギャラリートーク

解 説 稲垣進一氏(国際浮世絵学会常任理事)

日 時 4月23日(土)、5月22日(日) 午前11時からと午後2時から(40分程度)

会 場 展示室内

参 加 費 無料(※入館料のみ)

参加者:合計68人(4回実施)

入 館 者 有料:3,845人 無料:1,075人 合計:4,920人

2. 駿府博物館開館45周年記念ファシリテッド活動写真展「小さな勇者としっぽの仲間」

主 催 駿府博物館

特別協力 認定 特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズ

協 力 静岡県立こども病院、神奈川県立こども医療センター、小学館、静岡文化芸術大学、
TED×Shimizu 実行委員会、福井利佐(切り絵アーティスト)

後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送

■会 期 2016年7月2日(土)～9月4日(日)[56日間]

■開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■休館日 月曜日

■会場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂 3-1-1 静岡 新聞放送会館別館 2階)

■入館料 《当日券のみ》 高校生以上 300円

中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料

■内容 重い病気を抱え治療を受ける子供たちに寄り添う、全国でたった2頭のファシリテイドッグ。医療現場におけるファシリテイドッグの可能性とアイデアを少しでも多くの人たちに広げることを目的に、ファシリテイドッグ、看護師経験を持つハンドラー、病氣と闘う子供たちの姿を写真展という形の展覧会にした。日本で初めてファシリテイドッグを病院に導入したここ静岡から、映像も含めた写真展という形で発信した。

■関連イベント

●ワークショップ「フォトフレームを作ろう」

日時 7月14日(水)13時-16時

会場 静岡県立こども病院

対象 静岡県立こども病院の患者

参加費 無料

講師 静岡文化芸術大学の大学生・大学院生

内容 フォトフレーム作りを通じて子供たちが活気、感動、発見を体験することを目標にした。ワークショップで制作した作品を駿府博物館で展示し、子供たちの発表の場とした。

参加者:合計 60人(1回実地)

●トークイベント「もっとファシリテイドッグを知ろう！」

解説 鈴木恵子氏(ヨギハンドラー) 森田優子氏(ベイリーハンドラー) 村田夏子氏(シャイン・オン・キッズ研究員・プログラム・コーディネーター、農学博士) ファシリテイドッグのヨギ、ベイリー

日時 7月18日(月・祝)午前11時からと午後2時から(各回90分程度)

会場 展示室内

参加費 無料

内容 ファシリテイドッグやハンドラーについての活動内容を伝えた質疑応答形式のトークイベント。ベイリー、ヨギとのふれあい記念撮影会も行った。

参加者:合計 68人(2回実施)

●駿府博物館移動ミュージアム

日時 10月31日(月)~11月4日(金)、11月8日(火)~12月2日(金)

会場 静岡県立こども病院 外来全域

参加費 無料

内容 入院中の子供たちや外来での患者を対象に、院内でファシリテイドッグの出張写真展を開催した。

観覧者: 8,250人

入館者 有料:2,038人 無料:764人 合計:2,802人

3. 駿府博物館開館45周年記念 上橋菜穂子と〈精霊の守り人〉展

主催 駿府博物館

企画協力 NHK エンタープライズ

企画制作 NHK サービスセンター、世田谷文学館

協力 偕成社、新潮社、理論社、講談社、KADOKAWA、筑摩書房、香蘭女学校、日本国際児童図書評議会

後援 静岡市教育委員会 静岡新聞社・静岡放送

- 会 期 2016年9月24日(土)–11月20日(日)[50日間]
- 開館時間 午前9時30分–午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休 館 日 月曜日(※10/10は開館し翌日休館)
- 会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送会館別館2階)
- 入 館 料 《当日券のみ》高校生以上 800円
中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
- 内 容 代表作である〈精霊の守り人〉シリーズを中心とした、上橋菜穂子の作品世界の魅力に迫った。
シリーズ関連資料や文化人類学の研究資料、TVドラマやアニメの関連資料、漫画化された作品の展示など、ファンタジーや児童文学の枠を超えた展覧会になった。

■関連イベント

●交流会 上橋菜穂子交流会イン静岡

日 時 9月24日(土) 17:00–18:00

会 場 静岡 新聞放送会館4階会議室

参 加 費 中学生以上 500円 ※小学生以下無料

内 容 本展について上橋先生による展示解説や参加者からの質問コーナー。最後に先生のサイン入り図録、色紙、グッズなどが当たるお楽しみ抽選会を開催した。

参加者:合計 66人 (1回実施)

入 館 者 有料:1,867人 無料:704人 合計:2,571人

4. 駿府博物館開館45周年記念 静岡凱旋展 天野喜孝-ORIGIN

主 催 駿府博物館 静岡新聞社・静岡放送

企画協力 東映株式会社

特別協力 天野喜孝事務所、エムズマネジメントオフィス

協 力 朝日ソラノマ、あんず堂、太田出版、講談社文庫、スクウェア・エニックス、早川書房、富士見書房
DC Comics、N.Y.SALAD 制作実行委員会、PHP 研究所、株式会社フィンチ

後 援 静岡県教育委員会、静岡市教育委員会

- 会 期 2016年12月17日(土)–2017年3月5日(日)[62日間]
- 開館時間 午前9時30分–午後5時30分(入館は午後5時まで)
- 休 館 日 月曜日(1/9は開館し、翌日休館)、年末年始(12/29–1/4)
- 会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂3-1-1 静岡 新聞放送会館別館2階)
- 入 館 料 《当日券》高校生以上 800円 《前売り券》高校生以上 640円
中学生以下・障害者手帳ご提示の方は無料
- 内 容 画家、デザイナー、イラストレーターとして国際的に活躍する、静岡市出身の作家である天野喜孝。彼の画業を振り返る自身初の本格的静岡凱旋展。タツノコプロダクション時代のキャラクターデザインをはじめ、SF やファンタジー小説の装幀画や挿絵を中心に、一世を風靡したゲーム「ファイナルファンタジー」シリーズのキャラクターデザインやイメージイラスト等「今」そして「これから」の活動を紹介した。

■関連イベント

●天野喜孝アーティストトークショー

日 時 2月19日(土) 14:00–15:00

会 場 静岡 新聞放送会館4階会議室

参 加 費 無料(※入館料のみ)

内 容 天野先生に、作品解説や制作秘話等について館長との対談形式でお話しいただいた。また参加者からの質問コーナーやサイン入図録、色紙などが当たる抽選会も行い盛況を博した。

参加者:合計 82 人(1 回実施)

入館者 有料:3,321 人 無料:994 人 合計:4,315 人

5. 第 40 回蘇峰会静岡県書道展

主 催 駿府博物館(公益財団法人 静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団)

共 催 公益財団法人蘇峰会、静岡新聞社・静岡放送

後 援 静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡県書道連盟

■会 期 3 月 14 日(火)~3 月 26 日(日)[12 日間]

※会期中、展示替えを行った。

前期:3 月 14 日(火)~ 3 月 19 日(日)

徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、幼稚園・小学生の入選作品を展示

後期:3 月 21 日(火)~3 月 26 日(日)

徳富蘇峰賞、静岡県知事賞、静岡市長賞、中・高校生、一般の入選作品を展示

■開館時間 午前 9 時 30 分~午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

■休 館 日 3 月 23 日(月)

■会 場 駿府博物館(静岡市駿河区登呂 3-1-1 静岡 新聞放送会館別館 2 階)

■入 館 料 無料

■内 容 徳富蘇峰の顕彰と書道の発展・普及を目的に開催。応募総数 2,785 点の中から、最高賞の「徳富蘇峰賞」を含む大賞 55 点、優秀賞 294 点、合わせて 349 点を展示した。

入館者 無料:524 人

平成 28 年度 展 覧 会 入 館 者	有料	11,071 人 (10,316)	無料	4,061 人 (2,899)	合計	15,132 人 (13,215)
----------------------------	----	----------------------	----	--------------------	----	----------------------

※()内は平成 27 年度実績

B. 教育普及活動

1. 第 13 回駿府博物館短期歴史講座

静岡県の近現代史研究シリーズ第 4 弾「昭和恐慌から太平洋戦争前夜の静岡」

主 催 駿府博物館

協 力 静岡県近代史研究会

■会 場 静岡 新聞放送会館 4 階会議室(静岡市駿河区登呂 3-1-1)

■受 講 料 一般 5,000 円 大学生・大学院生 3,000 円 高校生 2,000 円 (税込)

※全 4 回分。資料代含む

■募集人数 50 人

■内 容 学校やカルチャースクールなどではなかなか学ぶ機会が少ない静岡県の近現代史。2013 年から静岡県近代史研究会にご協力いただき、明治・大正・昭和の静岡はどのような状況であったか、最新の地域史研究を交え、広く県民が学べる機会を提供した「静岡県の近現代史研究シリーズ第 4 弾」。昭和恐慌、満州事変、二・二六事件が起こり日本は軍国主義への道を歩み始め、ついに日中戦争へと突入していった。

このような激動の時代にあつて、静岡はどのような状況であつたか、「昭和恐慌から太平洋戦争前夜の静岡」に焦点を当て、静岡県の昭和史を4回にわたつて講義した。

■講義・講師・テーマ

【第1回】2017年1月15日(日)13:30-15:30

「大日本帝国下の兵士たち」 講師:静岡県近代史研究会幹事 小池 善之氏

「大日本帝国」の時代は、ある意味で「国際化」された時代であつた。国家の政策にしたがつて人々は、兵士、商人、あるいは移民として国外に赴き、他民族と接触し、そこで「大日本帝国」を担つたからだつた。その具体的な事例を紹介した。

【第2回】2017年1月29日(日)13:30-15:30

「航空軍都浜松の成立と展開」 講師:静岡県近代史研究会幹事 掛川東高等学校教諭 村瀬 隆彦氏

第一次大戦後、軍隊の近代化が図られ、浜松には爆撃機を装備した飛行第七連隊が設置される。これにより、県西部に多くの関連部隊が置かれ、産業にも大きな影響が与えられたが、その様子を概観した。

【第3回】2017年2月12日(日)13:30-15:30

「日本はなぜ開戦に踏み切つたか」 講師:静岡県立大学国際関係学部准教授 森山 優氏

当時「大東亜戦争」と呼称された戦争の原因について概説した。なぜ泥沼化した日中戦争を抱えていた日本が英米蘭と戦争相手を広げてしまったのか。最新の研究成果を紹介した。

【第4回】2017年2月26日(日)13:30-15:30

「昭和戦前期における一山村の生活記録～旧安倍郡大河内村有東木の日常～

講師:静岡県近代史研究会幹事 岡村 龍男氏

近代史研究を行う上で、個人の書いた日記は重要な史料とされている。有東木の石職人が残した日記から、昭和戦前期における一農村の生活がどのように営まれていたのかを読み解いた。

延べ参加者数:164人(1/15:45人、1/29:37人、2/12:41人、2/26:41人)

公益目的事業2

社会福祉事業及び災害救援活動への助成及び支援

A. 社会福祉事業への助成及び支援

「第54回愛の都市訪問」

社会福祉事業「愛の都市訪問」を実施した。県民の皆様から寄せられた善意の寄付金で寄贈品を購入し、県民の社会福祉に役立てた。県民のボランティアに対する理解を深め、地域福祉の応援とボランティア活動を支援するための物品を寄贈した。今、最も必要とされているものを必要としているところに届けるため、財団HPと静岡新聞及び静岡放送のテレビ・ラジオを通じて県内から広く公募し、選考委員会で審査のうえ、寄贈先と寄贈品を決めた。

1.寄付金	10,885,248円	27年度繰越金	2,797,977円	合計	13,683,225円
2.寄贈団体	車両……4団体	資機材……	6団体		
3.助成金額	合計	8,500,472円			
4.繰越金	合計	5,182,753円			

B. 災害救援活動への助成支援

「熊本地震災害義援金」

平成28年4月14日に発生した熊本県の地震災害に対する義援金の受け付けを行い、全額を日本赤十字静岡県支部に寄付した。 義援金 3,101件 190,672,636円

公益目的事業 3

地域のために貢献的な活動を続ける個人及び団体の表彰

「第6回ふるさと貢献賞」

地域のために貢献的な活動を続ける個人・団体を表彰する「ふるさと貢献賞」を実施した。表彰は「小中学生の部」「高校一般の部」と、「企業団体の部」の、3部門で行った。

表彰団体 「小中学生の部」6団体
「高校一般の部」9団体
「企業団体の部」2団体

収益事業

A. 展覧会印刷物の制作・図録・グッズ販売

1. 特別展・企画展、計5展覧会の出品目録（無料頒布）
2. 「ニャンダフル！浮世絵猫の世界展」図録、グッズ（委託有料頒布）
3. ファシリテイドッグ活動写真展「小さな勇者としっぽの仲間」書籍、グッズ（委託有料頒布）
4. 上橋菜穂子と〈精霊の守り人〉展 図録、グッズ（委託有料頒布）
5. 静岡凱旋展「天野喜孝ORIGIN」図録、グッズ（委託有料頒布）

◇平成28年度博物館利用者数 15,578名

事項	有料	無料	合計	備考
展覧会入館者数	11,071名	4,061名	15,132人	5展覧会
講座参加者数	162名	0名	162人	1講座4回
イベント参加者	66名	218名	284人	4イベント8回
博物館利用者数総計			15,578人	

館内業務

1. 職員の異動

平成28年6月29日、館長・業務執行理事の山下徹が退職。後任に渡辺忠晃が就任した。

平成28年8月1日より塩澤くみ子が静岡新聞社より着任した。

平成29年3月15日、学芸員の木南憲一が本社へ移動。同日、堀池順子が静岡新聞社より着任した。

館外業務

1. 作品の貸与・出品

- 1) 貸出先 浜松市鴨江アートセンター
作品 ファシリテイドッグ展の展示作品
貸出品 写真パネル、キャプション一式
使用目的 「Care展」における展示
貸出料 無料

貸与期間 2017年2月15日～4月末日

2.写真撮影及び掲載等

1) 貸出先 三重県(文化振興課県史編纂班)

作 品 徳川家康書状 田丸忠昌宛

貸出品 ポジフィルム

使用目的 書籍『三重県史』資料編「中世3」の県外文書編

貸出料 32,400円(税込)

貸与期間 2016年7月6日～8月6日

2) 貸出先 島田市博物館

作 品 土佐光成「駿府鳥瞰図」

貸出品 画像データ

使用目的 企画展「川越遺跡と島田の文化財」に於いて同作品の印刷物をパネル展示

貸出料 無料

貸与期間 2016年7月16日～9月4日

3.契約継続事項

1.(株)江崎新聞店と静岡新聞セット購読契約(平成26年8月1日～)

2.総合警備保障(株)と機械警備契約(平成26年12月24日～)

3.総合警備保障(株)と警備機械リース契約(平成27年1月2日～)

4.リコーリース(株)とコピー機のリース契約(平成27年1月1日～)

5.静岡放送(株)と事務所及び展示室の賃貸契約(平成27年1月1日～)

6.ユニー(株)アピタ静岡と駿府博物館チケット販売業務委託(平成27年1月1日～)

7.(株)ケイエムアドシステムと静鉄バスの車内アナウンス契約(平成27年4月1日～)

8.杉山明喜雄公認会計士事務所と顧問契約(平成27年7月～)

9.杉山明喜雄公認会計士事務所とTKC会計システムFX2のリース契約(平成27年7月1日～)

4.新規契約事項

1.クマリフト(株)と階段昇降機保守点検作業契約(平成28年9月1日～)